

## 特攻基地とミサイル基地

### その2. 英米軍の石垣島攻撃は特攻基地破壊のためだった



2019年4月17日 FB ページに投稿

日本軍の航空特攻は、1944年10月25日フィリピン沖で海軍敷島隊などが米艦隊に突入したのが最初と言われます。思わぬ攻撃で護衛空母をはじめ数隻の艦船と少なからぬ人員を失った米軍は、既に主力艦のほとんどが沈み制空権もほぼなくしていた日本軍が今後この「自爆攻撃」に力を入れると予想し、直ちに対策を練りました。

特攻機を海上で撃ち落とすために、艦載機種を迎撃重視への変更、「レーダーピケットライン」の展開、強力な機関砲座の艦上設置などを短期間でやり遂げたほか、特攻機発進用飛行場を叩くことも重視しました。

ちょうどその時期の1944年末に、イギリス海軍の太平洋戦線への参加が問題になりました。この件を任された米第5艦隊司令長官スプルーアンス提督が建てた案について、キース・ウィーラーの「日本本土への道」は次のように記しています。

「スプルーアンスは、アメリカ艦隊の隊形に、作戦方法の異なるイギリス艦隊を組み入れるののためにためらいを感じたが、まもなく彼らを側面作戦にあたらせる手を思いついた。沖縄の南西、台湾の方角に先島諸島が横たわっており、日本軍がここにかなりの航空部隊を配置していることが知られていた。スプルーアンスはイギリス艦隊戦術部隊の司令官バーナード・H・ローリングス中将に、この先島諸島を沈黙させてくれれば大いに助かるといい、ローリングスはこれをこころよく受け入れた」（同書のp25）。

これが、その後の先島の運命を決めた瞬間でした。

1945年3月15日にローリングス率いる英太平洋艦隊はスプルーアンスの米第5艦隊の一部となり沖縄作戦に出撃しましたが、その任務について、「日本本土への道」は、

「第57機動部隊（タスクフォース）と呼ばれたこのイギリス艦隊は、台湾と沖縄の間にある先島諸島で任務についていた。第57機動部隊の4隻のイギリス軍空母から飛びたつ戦闘爆撃機の任務は、先島諸島の飛行場を破壊し、特攻隊を援護するために沖縄に向かう日本軍機に、ここを中継点として使用させないようにすることであった。」

と明らかにしています（同書のp141）。

八重山では、大田静男さんが、英米軍の意図を表すものとしてこれらの記述に早くから注目し、「八重山戦後史」と「八重山の戦争」で紹介しています。また、江川義久さんは、2018年3月19日付八重山毎日新聞への投稿「なぜ石垣島は攻撃されたのか」で、大田さんの「八重山の戦争」を引用しながら、「台湾からの特攻機の中継基地としての役割が攻撃される原因となったと言わざるを得ない」と述べています。

ところで、上記訳文の「特攻隊を援護するために沖縄に向かう日本軍機」という表現に、「特攻機ではなく支援機？」と感じた人がいるかもしれませんが、実は、添付写真のように、「援護」と訳されている単語は、原文では reinforcements（「補強」、「増援」もしくは「増援部隊」）です。これは、江川義久さんが指摘しているように、「特攻隊の増援部隊として沖縄に向かう日本軍機」とする方が、よりの確と言

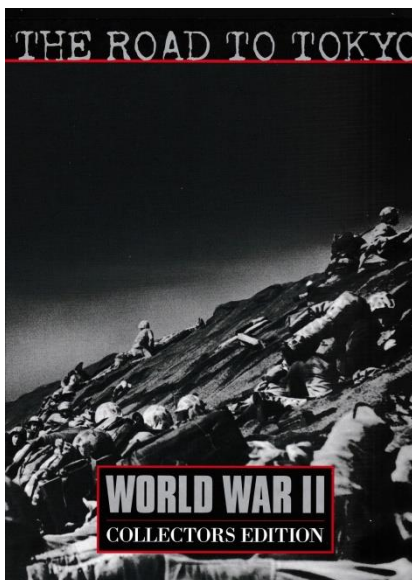
えるでしょう。

慶應義塾大学の赤木完爾教授は、第二次大戦末期の太平洋戦線における米英両国の協力を跡付けた論文「イギリス太平洋艦隊始末 一九四四 - 一九四五年：連合戦争の政治・戦略・作戦」で、「イギリス空母部隊は、沖縄海空戦においては、第五艦隊の南西翼側の防衛のため、沖縄と台湾の間、先島諸島方面の日本軍飛行場を攻撃するとともに、台湾および先島諸島からの特攻攻撃を阻止する任務に就いた。」(p72) と書いています。

また、総務省 HP にある「宮古島市（旧平良市）における戦災の状況（沖縄県）」は、「陸軍の特攻作戦が本格化するのに伴い、その中継基地としての宮古島は狙うに値するものとなった」と述べています。石垣島に関する記述は見つかりませんが、これは先島全体についての評価と考えて差し支えないでしょう。

インターネットで、”Sakishima Kamikaze”をキーワードとして検索すると、多くの記述がヒットします。大部分は先島攻撃に従軍した英米艦隊乗員の記録、手記ですが、特攻機の命中で甲板が火に包まれ戦友たちが倒れていくさまや、「島に無尽蔵にあるサンゴの砂」を使って「一晩のうちに修復されてしまう滑走路」に、毎日毎日爆弾を投下し続けた様子が生々しく綴られています。

「狙うに値する」特攻基地の存在こそが、英米軍の先島攻撃の原因だったのです。



Fighter-bombers from the four British carriers of Task Force 57 had been assigned to neutralize the Sakishima airfields, preventing their use as way-stops for Japanese planes en route to Okinawa as Kamikaze reinforcements.

Keith Wheeler, The Road to Tokyo (World War II, v.19), Time-Life Books, 1979, p141

第57機動部隊の4隻のイギリス軍空母から飛びたつ戦闘爆撃機群の任務は、先島諸島の飛行場を破壊し、特攻隊を援護するために沖縄に向かう日本軍機に、ここを中継点として使用させないようにすることであった。

上掲書の邦訳  
キース・ウィラー 著、谷地令子、水谷 駿 訳、  
日本本土への道（ライフ 第二次大戦史）、  
タイム ライフ ブックス、1980、141 頁

Keith Wheeler, The Road to Tokyo の表紙（左）と、  
原文と訳文の比較（上）

キース・ウィラー著「日本本土への道」、タイムライフブックス編集部編、谷地令子、水谷駿訳、タイムライフブックス、1980

Keith Wheeler and the Editors of Time-Life Books, WORLD WAR II The Road to Tokyo, Time-Life Books Inc., 1979

大田静男著「八重山戦後史」、ひるぎ社、1985

大田静男著「八重山の戦争」、南山舎、1996

赤木完爾 「イギリス太平洋艦隊始末 一九四四 - 一九四五年：連合戦争の政治・戦略・作戦」 慶應義塾大学法学研究会 法学研究：  
法律・政治・社会 Vol. 83, No. 12 (2010. 12), p57-82

江川義久 「なぜ石垣島は攻撃されたのか」 <http://loveishigaki.jp/archive/pressposting/pressposting2/ymainichi20180319egawa.jpg>

総務省「宮古島市（旧平良市）における戦災の状況（沖縄県）」

[http://www.soumu.go.jp/main\\_sosiki/daijinkanbou/sensai/situation/state/okinawa\\_02.html](http://www.soumu.go.jp/main_sosiki/daijinkanbou/sensai/situation/state/okinawa_02.html)